

修正箇所について（新旧対照表）

修正箇所①

箇所	P103 3 事業の進め方 (1)導入対象地域 3段落目	
理由	地域公共交通の導入に積極的に取り組むため	
内容	新	旧
	市街地の公共交通空白・不便地域は、既存の鉄道・バス等のサービス拡充や路線再編による利便性向上を目指し、既存公共交通での対応が難しい地域においては、地域の協力体制や導入条件等が整った地域について、 <u>地域公共交通の導入を進めます。</u>	市街地の公共交通空白・不便地域は、既存の鉄道・バス等のサービス拡充や路線再編による利便性向上を目指し、既存公共交通での対応が難しい地域においては、地域の協力体制や導入条件等が整った地域について、 <u>地域公共交通の導入検討を進めます。</u>

修正箇所②

箇所	P110 2 事業概要 3段落目	
理由	バスベイの設置に積極的に取り組むため (パブコメ意見)	
内容	新	旧
	また、バス路線となっている道路整備に合わせた <u>バスベイの設置を進めます。</u>	また、バス路線となっている道路整備に合わせた、 <u>バスベイの設置についても検討を進めていきます。</u>

修正箇所③

箇所	P112 3 事業の進め方 (2)バスベイ設置推進 2段落目	
理由	バスベイの設置に積極的に取り組むため (パブコメ意見)	
内容	新	旧
	運行本数や交通量が多い路線や乗降客数の多いバス停について、 <u>重点的にバスベイの設置を進めます。</u>	運行本数や交通量が多い路線や乗降客数の多いバス停について、 <u>重点的にバスベイの設置を検討します。</u>

※箇所に記載されているページ数は資料 1（計画案）のページを示しています。

修正箇所④

箇所	P116 3 事業の進め方	
理由	重複する文章を整理し読みやすくするため	
内容	新	旧
	<p>次世代モビリティの導入に向けては、既存の協議会等を活用しながら、その役割や効果、具体的な導入エリアや区間等、円滑な導入に向けた課題や問題点の整理を行います。</p> <p><u>その上で、次世代モビリティの技術進展に鑑みながら、社会実験を行い導入効果が確認できた場合には、地域の意向を聞きながら本格導入に向けて取り組みます。</u></p> <p>また、交通事業者に対しては、電気自動車をはじめとした次世代モビリティの普及促進に向けた支援を行います。</p>	<p>既存の協議会等を活用しながら、次世代モビリティの役割や効果、導入エリア、円滑な導入に向けた課題や問題点を検討します。</p> <p><u>都心・中心市街地や郊外部での交通結節点と観光施設間、拠点施設間、交通結節点と公共交通空白地域・不便地域間等、具体的に導入する区間やエリアを検討します。</u></p> <p><u>次世代モビリティの技術進展に鑑みながら、社会実験で課題や問題点とその対応策を検討し、地域の意向を聞きながら導入効果が確認できた場合には、本格導入に向けて取り組みます。</u></p> <p>交通事業者に対しては、電気自動車をはじめとした次世代モビリティの普及促進に向けた支援を行います。</p>

修正箇所⑤

箇所	P121 3 事業の進め方 (3)バス停留所整備	
理由	バス待合空間（上屋やベンチなど）の整備に積極的に取り組むため (パブコメ意見)	
内容	新	旧
	<p>バス停留所については、より快適な利用環境が求められ、特に利用者の多いバス停留所について、上屋やベンチの改善等の待合空間整備を進めます。</p> <p>また、バス停留所付近に商業施設や公共施設が隣接している場合については、これらの施設を活用した待合空間の確保を推進します。</p>	<p>バス停については、より快適な利用環境が求められ、特に利用者の多いバス停について、上屋やベンチの改善等の待合空間整備について検討を行います。</p> <p>また、バス停付近に商業施設や公共施設が隣接している場合については、これらの施設を活用した待合空間の確保についても検討します。</p>

修正箇所⑥

箇所	P123 3 事業の進め方 (5) サイクル&バスライド 2段落目	
理由	市街地のバス停留所に限らず需要の多い箇所において取組を推進するため (パブコメ意見)	
内容	新	旧
	<p>バスの便数が多く、バス停留所密度の低い(バス停留所間距離が長い、他のバス路線と離れている等)バス停留所等を対象に、需要に応じてサイクル&amp;バスライド用駐輪場の整備を進めます。</p>	<p>バスの便数が多く、バス停留所密度の低い(バス停留所間距離が長い、他のバス路線と離れている等)市街地のバス停留所を対象に、需要に応じてサイクル&amp;バスライド用駐輪場の整備を進めます。</p>

修正箇所⑦

箇所	P129 3 事業の進め方 (4) 歩行環境 2段落目	
理由	既に取り組みが進められているため	
内容	新	旧
	<p>J R 姫路駅～・・・国土交通省から「ウォーカブル推進都市」として選定され、「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の形成を目指した様々な<u>取り組みが進められています。</u></p>	<p>J R 姫路駅～・・・国土交通省から「ウォーカブル推進都市」として選定され、今後「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の形成を目指した、様々な<u>取り組みが検討されています。</u></p>

修正箇所⑧

箇所	P144 3 事業の進め方 (2) 出前講座の実施 4段落目	
理由	利用者の声をサービスの改善につなげることをより分かりやすく表現するため	
内容	新	旧
	<p>また、出前講座の場では、<u>行政と参加した住民が公共交通についての意見交換をしたり、公共交通の利用意向を把握することで、住民目線での公共交通のサービス改善につなげます。</u></p>	<p>また、出前講座の場では、<u>参加した住民や公共交通利用者と公共交通についての意見交換や利用意向を把握することで、利用者目線による公共交通のサービス改善を検討します。</u></p>